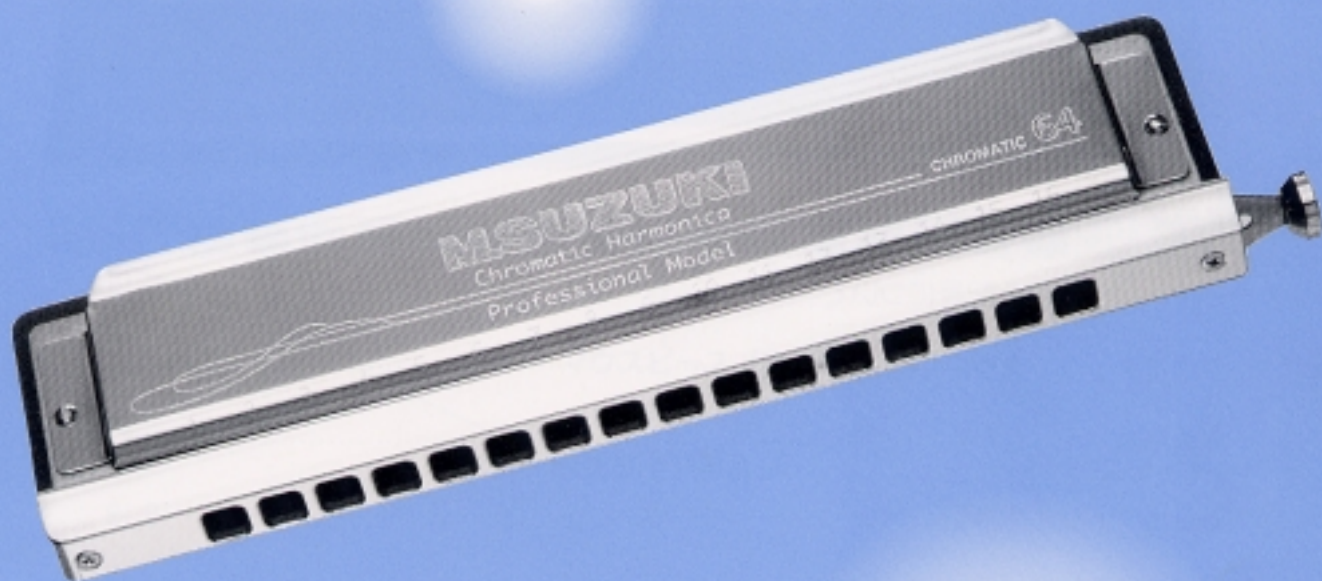


SUZUKI

# クロマチック・ハーモニカ入門

— 基礎知識と演奏技法 —



**S** SUZUKI MUSICAL INST. MFG. CO., LTD.  
Hamamatsu, Japan

# 目 次

クロマチック・ハーモニカの基礎知識	1
クロマチック・ハーモニカの音配列	2
ハーモニカの持ち方・姿勢・口の形	3・4
数字譜と五線譜	5
ロングトーン	6
音階練習	7
音符と休符：全音符・2分音符・4分音符の練習	8
8分音符・16分音符・休符の練習	9
付点音符・3連符の練習	10
スライド・レバーの操作	13・14
変化記号について	14
クロマチック・スケールの練習	15
異名同音	17
トリル：トリルの練習	18・19
ビブラート奏法	20
~~~~~	
ケンタッキーの我が家 (練習曲)	11
ダニーボーイ (練習曲)	12
夢路より (練習曲)	16
スワニー河 (ハーモニカトリオ1)	21
駅馬車 (ハーモニカトリオ2)	22

## 【クロマチック・ハーモニカの基礎知識】

このクロマチック・ハーモニカはスライド式です。

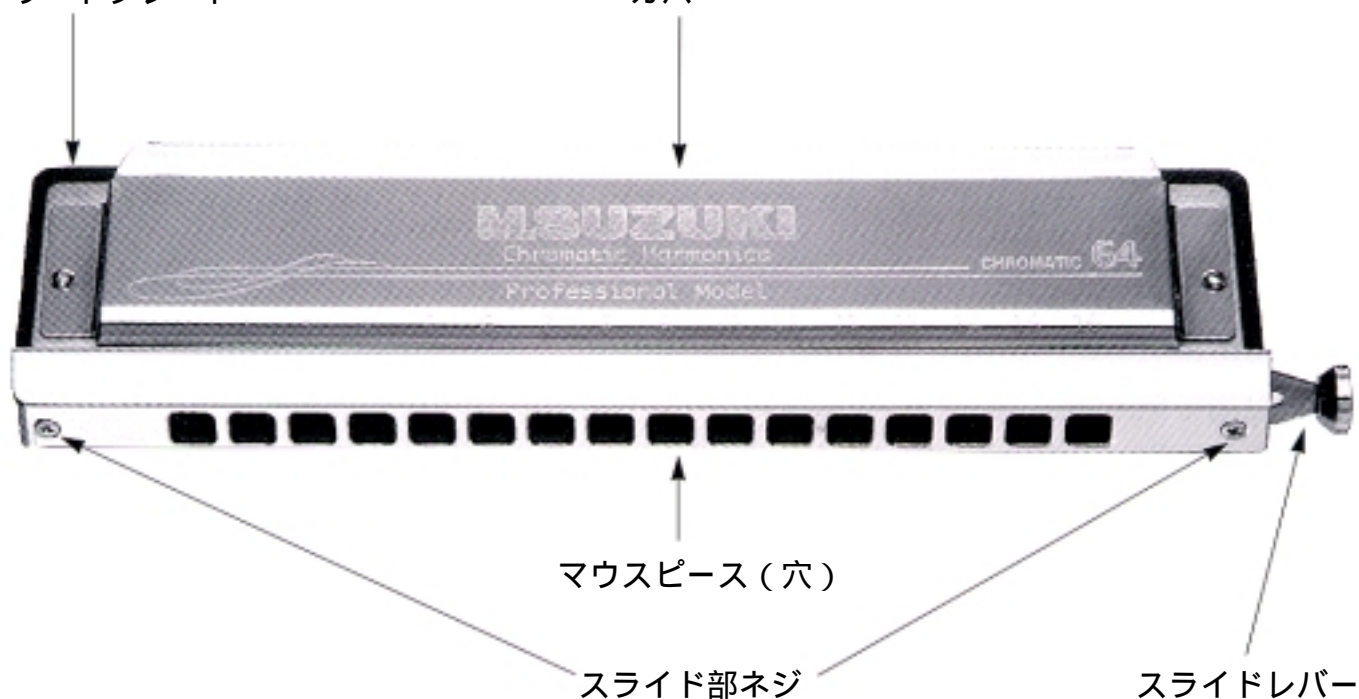
1穴2音式と呼び、右端のスライドレバーを押すことによって半音高い派生音が鳴る仕組みになっております。

### 《クロマチック・ハーモニカの各部の名称》

SC-64

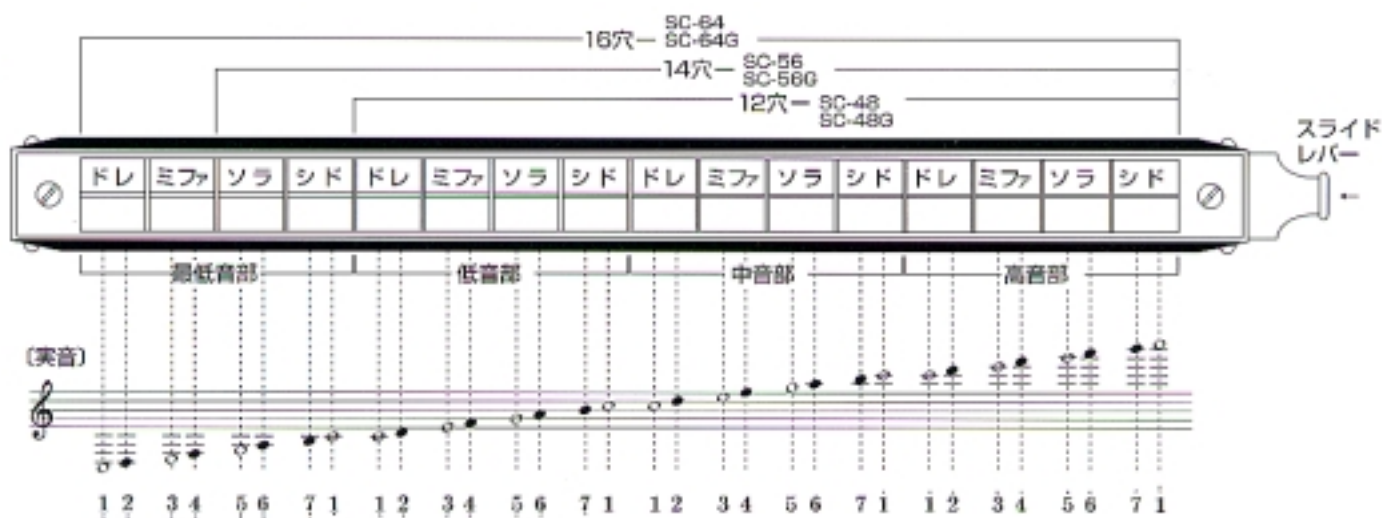
リードプレート

カバー



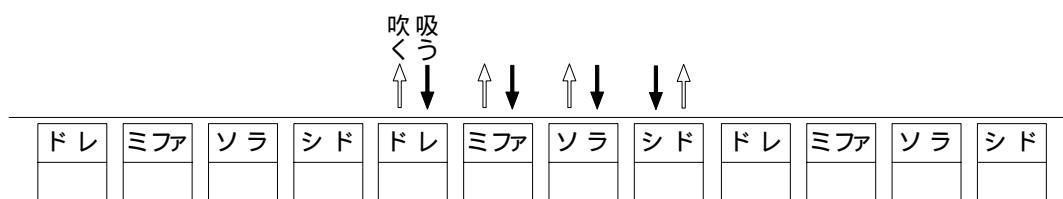
# クロマチック・ハーモニカの音配列

## スライド式クロマチック・ハーモニカ



は吹き音です。（楽譜などでは、BLOW又はBと表記されることもあります。）

は吸い音です。（楽譜などでは、DRAW又はDと表記されることもあります。）



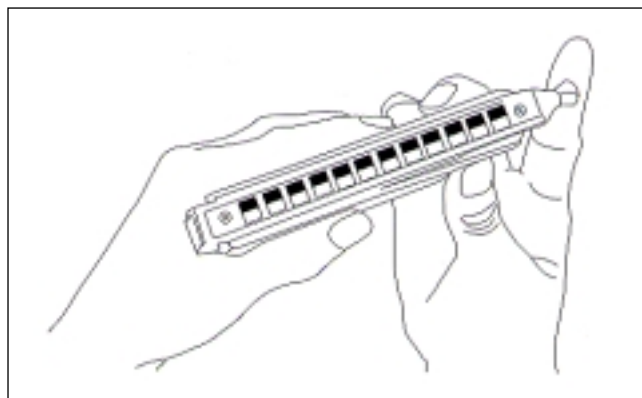
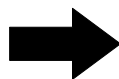
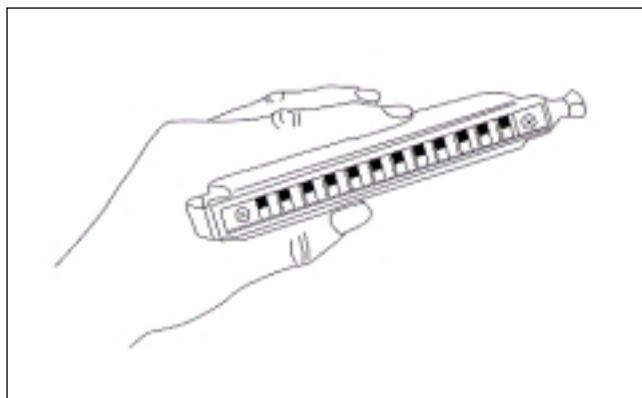
下段の穴は、  
スライドレバー操作で  
半音を出す項目の時に  
説明します。

スライド式クロマチック・ハーモニカには、1つの穴に吹き吸い2つの音があります。

吹き音は、ド・ミ・ソで

吸い音は、レ・ファ・ラ・シです。

## ハーモニカの持ち方



左側に低音、右側に高音（スライドレバーのある方）が来るようにし、左手の親指と人差指でハーモニカをはさむように持ち、残りの3本の指は軽く添えます。

右手の親指と中、薬指で楽器を支え人差指はスライドレバーに当てます。

## 姿勢

顔は真正面に向け、背筋をのばして真っすぐに立ちます。

体にむだな力を入れず、肩の力を抜いてください。

右ひじは軽く体の側面につけ、左ひじは軽く横に張ってください。（下図）

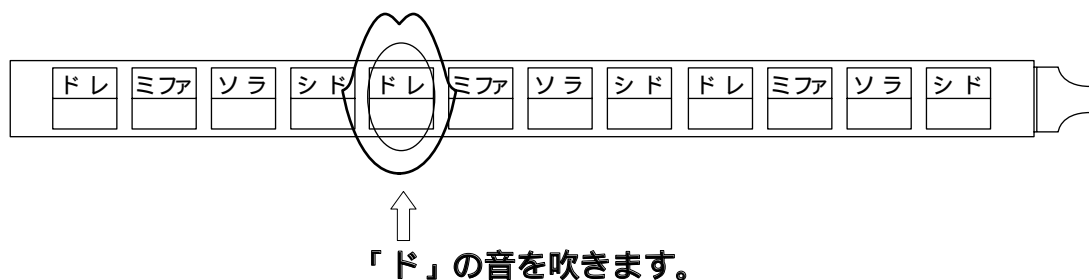


## 口の形

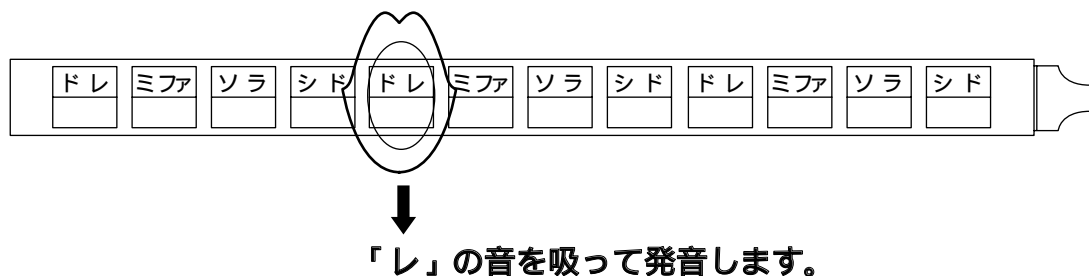
まず、正確できれいな一つの音を出す練習から始めましょう。

口の中は、玉を含んだように丸く、口先は、**ア、イ、ウ、エ、オ**、と発音したときの『オ』の形にとがらせて吹いてみましょう。

12穴の楽器の場合は、左から5番目の穴の位置に口を当てます。



今度は同じ位置、同じ口の形で



口が拡がりすぎていると、他の吹き音や吸い音が混ざったりします。

又、口を絞りすぎると音が歪んだりします。

一音だけの澄んだ音が発音出来るように、自分に合った口の形を研究してみるとよいでしょう。



## 【数字譜と五線譜】

長年、日本では、ハーモニカの楽譜として数字譜が使われてきました。  
本書では、記譜法として、五線譜を併記します。

### 〈数字譜〉

音階を数字譜で表わしてみますと

・	・	・	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	レ	ミ	・	・	・
・	・	・	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	・	・	・

低音部では数字の下に点を付け、高音部では数字の上に点を付けて区別します。

### 〈五線譜〉

音符の示す音の高さについて説明しましょう。

1 2 3 4 5 6 7 1 (ハーモニカ数字譜)

階名	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド		
音名	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	(ハ)	(日本)	
	C	D	E	F	G	A	B	(C)	(英米)	
	シー	ディー	イー	エフ	ジー	エー	ビー			
	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si	(Do)	(仏伊)	
	C	D	E	F	G	A	H	(C)	(独)	
	ツェー	デー	エー	エフ	ゲー	アー	ハー			

② 注 <sup>ハ</sup> 独のBは<sup>ハ</sup>Hより半音低い音を表します。

<sup>ハ</sup>B = B<sup>b</sup> = 変ロ  
(独)(英米)(日本)

これら七つの音に対しては、階名と、音名の二通りの呼び名があるので、混同しないようにして下さい。

階名 - 調子にかかわらず長音階の音配列の順に付けた名前。

音名 - 或る高さの音に与えられた固有の名前で、国によって呼び方が異なります。

クロマチック・ハーモニカの場合は、階名のドレミファ をそのまま音名として用い、たとえば下一線のド は何調の場合でも常にドと読んで演奏します。(固定ド唱法)

# ロングトーン

どのような楽器でも、まず、正確な音程と一定の音量で奏する技術が必要です。その為にもロングトーンの練習を行ないましょう。

口の形を思い出して、次の楽譜の音を出してください。

(12穴なら左から5番目の穴、14穴なら左から7番目の穴、16穴なら左から9番目の穴です。)最初はメトロノームを使って ♩=60 (4分音符が1分間に60打つ速度) の速さで、7拍間 (8拍目を息つぎしてください。) 行ない、それを4回ほどくり返してみましょう。

吹き音

4/4 1 - - - | 1 - - 0 :

吸い音

4/4 2 - - - | 2 - - 0 :

口の形、息の量に注意しながら、安定した音が出るようになるまで練習してください。今度は他の音に変えて行ないましょう。



# 音階練習

ある程度安定した音が出せるようになって来たところで、音階練習（八長調）を行なってみましょう。

(12穴なら左から5番目の穴、14穴なら左から7番目の穴、16穴なら左から9番目の穴から始めます。)

下の譜でできるようになったら、1オクターブ下（もう一つ下のド）から、或いは、1オクターブ上（もう一つ上のド）など、なるべく広い音域に渡った練習をしましょう。

吹き吸いによる音の位置関係を早く覚えてください。

The image shows four diagrams of fingerings for notes on a harmonica. Each diagram has a box with three notes and arrows above indicating breath direction. The notes are: 1. ドレ (Do-Re) with arrows pointing up and down; 2. ミファ (Mi-Fa) with arrows pointing up and down; 3. ソラ (So-La) with arrows pointing up and down; 4. シド (Si-Do) with arrows pointing down and up. Below these are two staves of musical notation in 4/4 time. The first staff shows an ascending scale: 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7 - 1̇. The second staff shows a descending scale: 1̇ - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1.

楽譜の下段（ドシラ下行形）上段の逆をたどってください。

スライド式クロマチック・ハーモニカは シド ドレ のように、となりどうしの穴で吹き音のドがだぶっています。

このドの音をどう選択して吹くかが奏法上重要となります。

使い分けのポイントとして、ドの前後の音がそのドの音より下なら上図 のように吹きま  
す。（シドシ楽譜では下の音）

また、ドの前後の音が高い場合は、上図 のとなり合った右側のドを吹く、というように、最初に楽譜を読む段階で、ドの音を吹く穴を決めることが必要となってきます。







# 音符と休符

初期の段階で主に覚えておきたい音符と休符を一覧表にすると次のようになります。

(数字譜は 1・ドの音で表示しています。)

メトロノームを使って、長さをしっかりと覚えてください。

拍数	音符	数字符	休符	数字符
4拍	全音符 	1 - - -	全休符 	0 - - -
2拍	2分音符 	1 -	2分休符 	0 -
1拍	4分音符 	1	4分休符 	0
$\frac{1}{2}$ 拍	8分音符 	<u>1</u>	8分休符 	<u>0</u>
$\frac{1}{4}$ 拍	16分音符 	<u>1</u>	16分休符 	<u>0</u>

3拍	付点2分音符 	1 - - (1 - ·)	付点2分休符 	0 - - (0 - ·)
1拍半	付点4分音符 	1·	付点4分休符 	0·
$\frac{3}{4}$ 拍	付点8分音符 	<u>1·</u>	付点8分休符 	<u>0·</u>

1拍	3連符 	
----	-----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

## 全音符・2分音符・4分音符の練習

(1) 

(2) 

## 8分音符・16分音符の練習

(1)

(2)

(3)

## 休符の練習

(1)

(2)

(3)

## 付点音符の練習

(1)

(2)

## 3連符の練習

(1)

(2)

練習曲

ケンタッキーの我が家

フォスター 作曲

3 3 1 2 3 4 3 4 6 5 0 4 3 2 0 1 1 7 0 1 2 - - 0 2

3 3 1 2 3 4 3 4 6 5 1 2 3 3 2 1 3 2 1 - - 0 3

3 3 1 2 3 4 3 4 6 5 0 4 3 2 0 1 1 7 0 1 2 - - 5

3 3 1 2 3 4 3 4 6 5 1 2 3 1 4 3 2 7 1 - - 0

5 3 4 6 5 3 0 2 1 2 1 6 1 - 0 1 2

3 3 1 2 3 4 3 4 6 5 1 2 3 1 4 3 2 2 7 1 - - 0

# 練習曲

## ダニーボーイ

アイルランド民謡

The image shows a musical score for the Irish folk song 'Danny Boy'. It consists of five staves of music. The first four staves are in 4/4 time and feature a melody line with guitar tablature underneath. The fifth staff is a shorter melodic phrase. The tablature uses numbers 1-7 to represent frets and includes various musical notations such as slurs, accents, and dots.

Staff 1: 7 1 2 | 3. | 2 3 6 5 3 | 2 1 6 | 6 1 3 4 | 5. | 6 | 5 3 1 3

Staff 2: 2 - | 2 7 1 2 | 3. | 2 3 6 5 3 | 2 1 6 | 6 7 1 2 | 3. | 4 | 3 2 1 2

Staff 3: 1 - | 1 5 6 7 | i. | 7 7 6 5 6 | 5 3 1 | 1 5 6 7 | i. | 7 7 6 5 3

Staff 4: 2 - | 2 5 5 5 | 3. | 2 2 i 6 i | 5 3 1 | 1 7 1 2 | 3 6 5 3 2 1 6 7

Staff 5: 1 - | 1

# 【スライドレバーの操作】

## 《 (シャープ) と (フラット) 》

ここからは、スライドレバーを押すことによって出せる半音について学びます。  
まず、下の図で 、 がついている音を覚えましょう。

## 半音を含んだ音配列図 ( )

吹く	BLOW	C	E	G	C	C	E	G	C	C	E	G	C	C	E	G	C	レバーを 押した状態
吸う	DRAW	D	F	A	B	D	F	A	B	D	F	A	B	D	F	A	B	

吹く	BLOW	C D	E F	G A	C D	C D	E F	G A	C D	C D	E F	G A	C D	C D	E F	G A	C D
吸う	DRAW	D E	F G	A B	B C	D E	F G	A B	B C	D E	F G	A B	B C	D E	F G	A B	D

SC-48  
SC-48G (12穴)

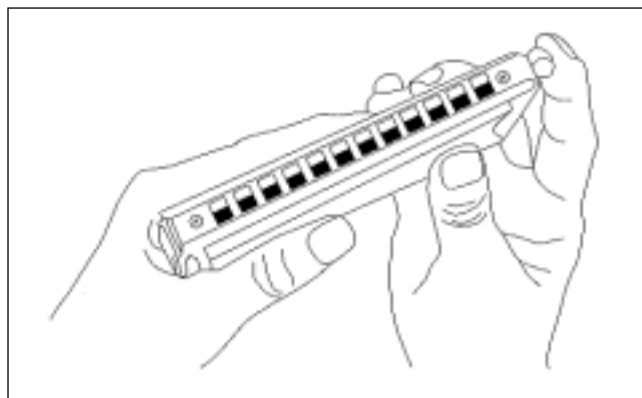
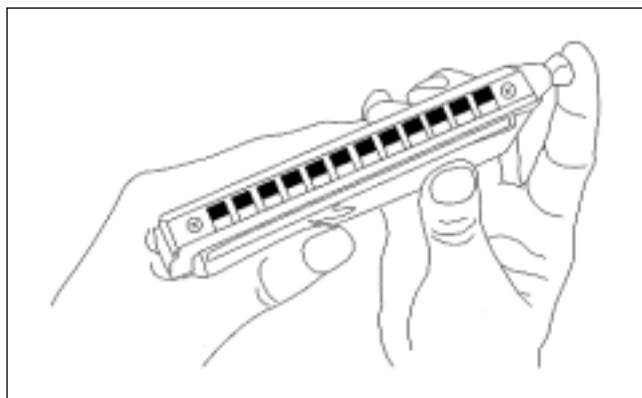
SC-56  
SC-56G (14穴)

SC-64  
SC-64G (16穴)

実際に音を出しながら、 の位置などを確認してください。

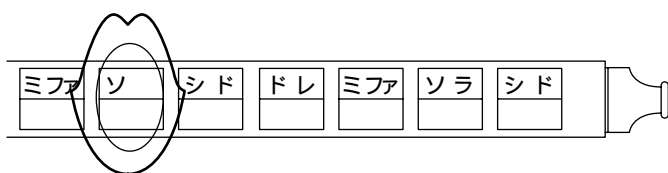


# レバー操作

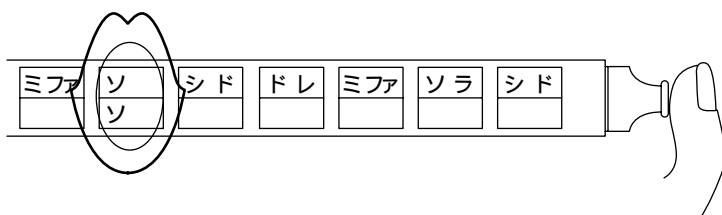


スライドレバーは、右手の人差指を使って操作します。

スライドレバーを押した状態。



ソ(5)を吹いたまま



レバーを押せば  
ソ・シャープ( 5 )の  
音が出ます。

# 変化記号について

- (シャープ) - 嬰記号 ————— 半音高くする
- (フラット) - 変記号 ————— 半音低くする
- ♮(ナチュラル) - 本位記号 ————— や のついた音を元の高さに戻す



# クロマチック・スケール（半音階）の練習

前の項目を元に半音階の練習をしましょう。

は、スライドレバーを押して出す音です。

(1)

(2)

(3)

練習曲

夢路より

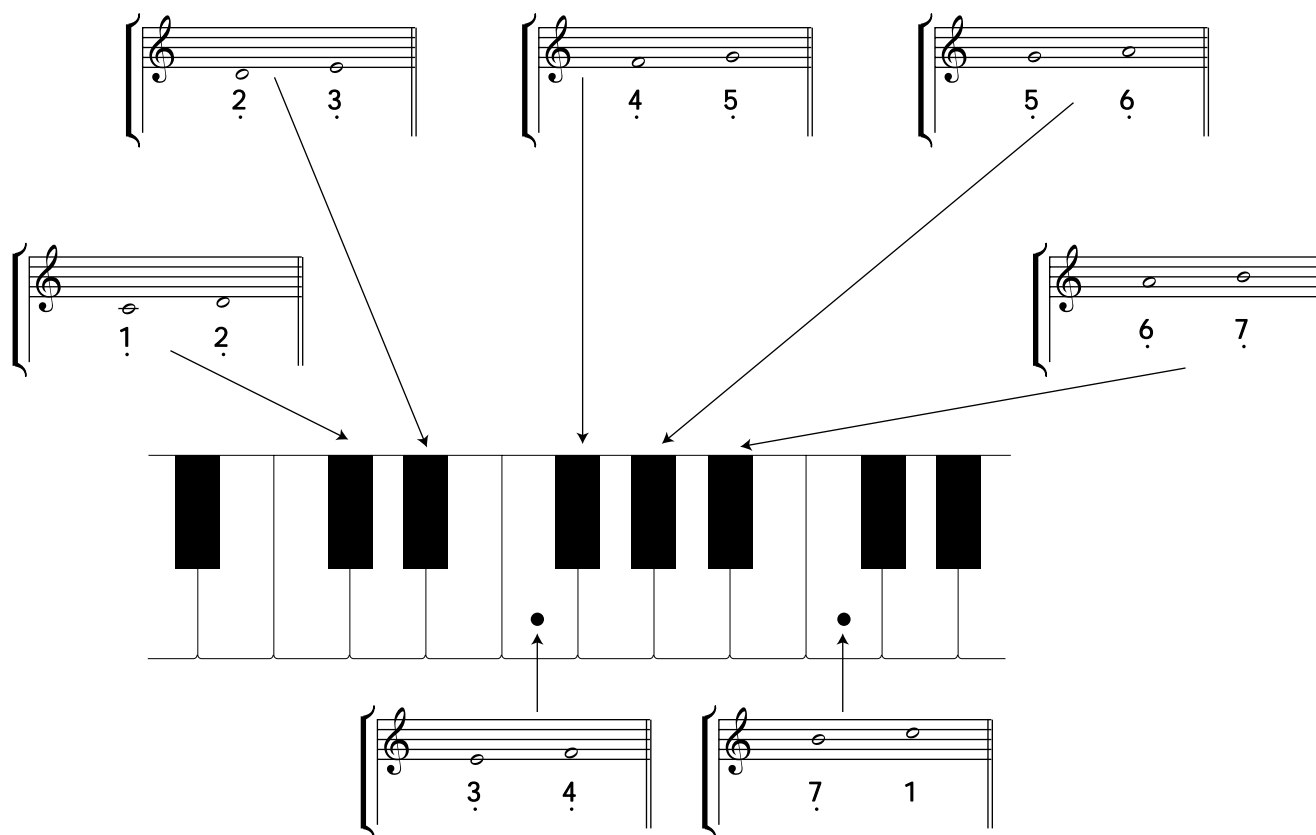
フォスター 作曲

The musical score consists of six systems of notation, each with a treble clef staff and a corresponding line of fingerings. The fingerings are as follows:

- System 1:  $\underline{1}7\underline{1}5$  3 |  $\underline{2}^{\flat}\underline{1}$  2 6 - |  $\underline{5}43$   $\underline{3}2^{\flat}\underline{1}$   $\underline{2}67$  | 1 - -
- System 2:  $\underline{1}7\underline{1}5$  3 |  $\underline{2}^{\flat}\underline{1}$  2 6 - |  $\underline{5}76$   $\underline{6}54$   $\underline{4}32$  | 3 - -
- System 3:  $\underline{1}7\underline{1}5$  3 |  $\underline{2}^{\flat}\underline{1}$  2 6 - |  $\underline{5}76$   $\underline{6}54$   $\underline{4}32$  | 1 - -
- System 4:  $\underline{5}42$  7 6 |  $\underline{6}53$  1 - |  $\underline{1}7\underline{1}6$   $\underline{2}^{\flat}\underline{1}$  |  $\underline{7}165$  -
- System 5:  $\underline{1}7\underline{1}5$  3 |  $\underline{2}^{\flat}\underline{1}$  2 6 - |  $\underline{5}76$   $\underline{6}54$   $\underline{4}32$  | 3 - 0
- System 6:  $\underline{6}7\underline{1}$   $\underline{1}53$   $\underline{4}32$  | 1 - -

# 異名同音（エンハーモニック）

異名同音とは、音名や記譜が違って、実際は同じ音になることをいいます。



上の ~ は、異名同音を書き表わしたもので、左右の音名は違いますが同じ音として扱います。

~ は左側の のついた音をスライドレバーの操作で出します。

はミを吹いてレバーを押すか、吸い音のファのいずれかで出します。

はシを吸ってレバーを押すか、吹き音のドのいずれかで出します。

ミのように（フラット）の付いた音の場合は、頭の中でレ（シャープ）と読みかえることが出来るように慣れましょう。

# トリル

スライド式クロマチック・ハーモニカは、スライドレバーの操作によって半音のトリルを出すことができます。

ここではレバー操作による半音トリルと、吹き吸いによる全音トリルの練習をしましょう。

## スライドレバーによる半音のトリル

スライドレバーを押す動作と離してレバーが戻る動作の連続によって行なうトリルです。

吹き音の例

ミのトリル

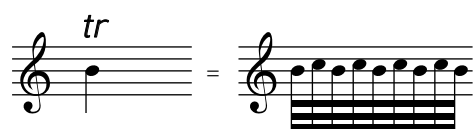


ミを吹きながらスライドを使う。

(矢印はスライドレバーを押した時に出る音(ファ))

吸い音の例

シのトリル



シを吸いながらスライドを使う。

(矢印はスライドレバーを押した時に出る音(ド))

その他にも各々の穴の吹き音、吸い音をレバー操作することによって半音のトリルが出来るので練習してください。

## 吹き吸い連続の動作による全音のトリル

1つの穴で吹き吸いを交互に行なうトリルの例

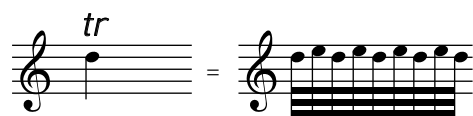
ドのトリル



(他にソのトリルも有ります。)

隣りの穴にまたがる(2穴)を吸う吹く交互に行なうトリルの例

レのトリル



(他にファのトリルも有ります。)

隣りの穴にまたがる(2穴)を吸い音同志で行なうトリルの例

ラのトリル



楽器の構造上、技術的に容易なトリルと難しいトリルがあります。

瞬間的な全音トリルなどは、スライドレバー操作による半音トリルで代用した方がよい場合もあります。

# トリル

## スライドレバー操作による半音のトリルの練習

(1)

(2)

## 吹き・吸いによる全音のトリルの練習

(2)

(2)

# 《ビブラート奏法》

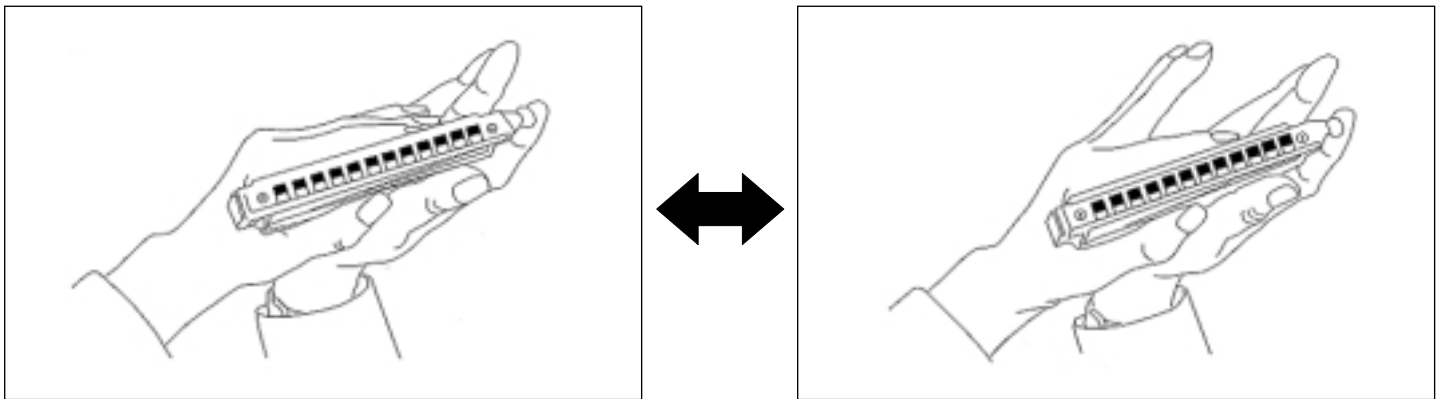
直線的な音だけでは、表現力に乏しいので、伸ばした音に波を与え曲に表情をつけて演奏するのがビブラート奏法です。

ビブラートのつけ方はいろいろありますが、次に示すような方法をよく研究して、自分にあった方法で曲を十分に歌うように演奏して下さい。

## 1. ハンドカバーによるビブラート

これは最も一般的な方法で、図のように左手でハーモニカをささえ、右手で底の部分を包むようにします。

左手の小指、薬指、中指の3本を開閉することによって、ビブラートをかけます。



(手の動くスピードの変化によって、細かい波状型から、大きく揺れるビブラートまでが得られます。)

## 2. 舌先を使うビブラート

舌の先端を少し奥へ引っこめてヤ行の「ヨ」を発音する要領で「ヨヨヨヨ」というように演奏すると大きくするどい感じのビブラートが得られます。

## 3. 楽器を振動させるビブラート

楽器自体を前後に揺らして息の流れに変化を与えるビブラート。

左右に動きを与えたり、大きく揺らすと他の音が混ざったり、音が切れたりするので注意してください。

(これも、手の動くスピードの変化によって、粗いビブラートから細かいビブラートまでが得られます。)

## その他

横隔膜の振動によるビブラート、スロートビブラート等様々なビブラートや、効果的な奏法があります。



# ハーモニカトリオ1

## スワニー河

フォスター 作曲

ハーモニカトリオの為に編曲しました。各パートの音量のバランスに注意して演奏して下さい。

**A**

クロマチック  
ハーモニカ  
(XOフィー)

コード

バス

3 - 2 1 3 2 1  $\dot{1}$  6  $\dot{1}$  5 - 3 1 2 - - 0

C F C G7

1 0 1 0 4 0 4 0 1 0 1 0 5 4 3 2

クロマチック  
ハーモニカ  
(XOフィー)

コード

バス

3 - 2 1 3 2 1  $\dot{1}$  6  $\dot{1}$  5 3 1 2 2 1 - - 0

C F C G7 C

1 0 1 0 4 0 4 0 5 0 5 0 1 5 1 0

**B**

クロマチック  
ハーモニカ  
(XOフィー)

コード

バス

7  $\dot{1}$  2 5 5 6 5  $\dot{1}$   $\dot{1}$  6 4 6 5 - - 0

G7 C F G7

5 0 5 0 1 0 1 0 4 0 4 0 5 4 3 2

クロマチック  
ハーモニカ  
(XOフィー)

コード

バス

3 - 2 1 3 2 1  $\dot{1}$  6  $\dot{1}$  5 3 1 2 2 2  $\dot{1}$  - - 0

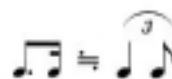
C F C G7 C

1 0 1 0 4 0 4 - 5 0 5 0 1 5  $\dot{1}$  0

# ハーモニカトリオ2

## 駅馬車

アメリカ民謡

 クロマチックハーモニカとコードハーモニカのリズムに注意して演奏してください。

クロマチック  
ハーモニカ  
(XDFイー)

コード

バス



クロマチック  
ハーモニカ  
(XDFイー)

コード

バス



クロマチック  
ハーモニカ  
(XDFイー)

コード

バス



クロマチック  
ハーモニカ  
(XDFイー)

コード

バス



クロマチック  
ハーモニカ  
(メロディー)

コード

バス

5 - - - 5 6 5 3 1 3 - - - 3 5 1 3

1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0

クロマチック  
ハーモニカ  
(メロディー)

コード

バス

to ♯

2 - - - 2 3 2 1 6 1 - - - 1 5·6 1 1·6

2 0 5 0 2 0 5 0 1 0 5 0 1 0 - -

クロマチック  
ハーモニカ  
(メロディー)

コード

バス

1 - - - 1 3·2 1 6 5 - - - 5 1 1 1

1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0

クロマチック  
ハーモニカ  
(メロディー)

コード

バス

5 - - - 5 3 3·2 1 3 - - - 3 1 1 1

1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0

シロフック  
 ルーエカ  
 (メロイ)

5 - - - 5 3 3 2 1 3 - - - 3 1 1 6 1

コード  
 C

バス  
 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0

シロフック  
 ルーエカ  
 (メロイ)

2 - - - 2 3 2 1 6 1 - - - 1 5 1 3 :

コード  
 G7 C

バス  
 2 0 5 0 2 0 5 0 1 0 5 0 1 0 - - :

◆ coda

シロフック  
 ルーエカ  
 (メロイ)

1 3 2 1 6 1 - - - 1 3 2 1 6 1 - - -

コード  
 C

バス  
 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0 1 0 5 0

シロフック  
 ルーエカ  
 (メロイ)

1 0

コード  
 C

バス  
 1 0 1 -

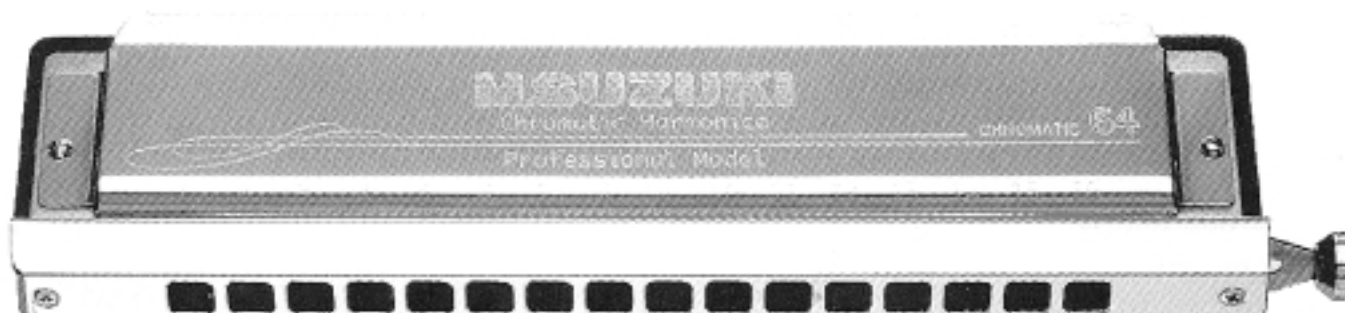
SC-48



SC-56



SC-64



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 浜松市領家2-25-12 TEL(053)461-2325(代)